

南監査号
令和7年11月14日

南幌町長 大崎貞二様
南幌町議会議長 側瀬敏彦様
株式会社 南幌振興公社
代表取締役 大崎貞二様

南幌町監査委員 白倉敏美
南幌町監査委員 加藤真悟

令和7年度南幌町財政的援助団体等監査報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により実施した財政的援助団体等の監査結果に関する報告を同条第9項の規定により、次のとおり提出します。

記

1 監査実施団体

株式会社 南幌振興公社

2 監査実施期日

令和7年10月15日（1日間）

3 財政的援助等内容

- (1) 株式 31,800千円（出資比率32.7%）
- (2) 損失補償 元金181,660千円及び利息の合計額を限度

4 監査の目的と着眼点

財政的援助団体である株式会社南幌振興公社の令和6年度決算報告書、貸借対照表、損益計算書、契約書類等の重要書類を閲覧し、南幌町監査基準に基づき経営概況について書類監査と聞き取りを実施した。

また、令和7年9月末現在の経営成績、運営状況、集客状況の推移など、事業実績を基本に南幌リバーサイドゴルフ場の経営概況と収支見込についての聞き取りを主に確認を行うとともに財務諸表の検証を行っている。

なお、監査の内容は、千円単位の四捨五入のため内訳と合計が一致しない場合がある。

5 監査の場所

株式会社 南幌振興公社会議室

6 監査の内容

(1) 令和6年度事業実績

【令和6年度コース売上高及び入場者数】

項目	令和6年度	令和5年度	前年度対比	
			増減	増減率
営業日数	221日	222日	△1日	△0.5%
西・南	売上高	137,929千円	131,082千円	6,847千円 5.2%
	入場者数	36,852人	35,399人	1,453人 4.1%
	客単価	3,743円	3,703円	40円 1.1%
北	売上高	19,839千円	18,321千円	1,518千円 8.3%
	入場者数	7,161人	6,603人	558人 8.5%
	客単価	2,770円	2,775円	△5円 △0.2%
合計	売上高	157,768千円	149,403千円	8,365千円 5.6%
	入場者数	44,013人	42,002人	2,011人 4.8%
	客単価	3,585円	3,557円	28円 0.8%

※ 売上高に消費税及びゴルフ場利用税を含まない。

※ 入場者数に北コースの15歳未満の無料入場者を含む。(令和6年度:73名、令和5年度:96名)

営業日数は221日と前年度より1日少なく、入場客数は前年度比2,011人、4.8%増加し、コース売上高は前年度比8,365千円、5.6%増加した。

(2) 令和6年度損益

【比較損益計算書】

(単位：千円)

科 目	令 和 6 年 度					令 和 5 年 度		増 減	
	予算額	売上比	決算額	売上比	達成率	金 額	売上比	増 減	増減率
売 上 高	145,550	100.0%	173,900	100.0%	119.5%	164,817	100.0%	9,083	5.5%
売 上 原 価	117,401	80.7%	124,469	71.6%	106.0%	120,977	73.4%	3,492	2.9%
仕 入 高	190	0.1%	311	0.2%	163.7%	283	0.2%	28	9.9%
労 務 費	68,921	47.4%	64,938	37.3%	94.2%	60,355	36.6%	4,583	7.6%
消 耗 品 費	3,660	2.5%	4,271	2.5%	116.7%	4,908	3.0%	△637	△13.0%
修 繕 費	7,500	5.2%	14,005	8.1%	186.7%	14,388	8.7%	△383	△2.7%
種 子 農 薬 費	10,000	6.9%	8,909	5.1%	89.1%	7,577	4.6%	1,332	17.6%
広 告 宣 伝 費	890	0.6%	377	0.2%	42.4%	3,639	2.2%	△3,262	△89.6%
減 価 償 却 費	7,400	5.1%	10,293	5.9%	139.1%	9,021	5.5%	1,272	14.1%
そ の 他 費 用	18,840	12.9%	21,365	12.3%	113.4%	20,806	12.6%	559	2.7%
売 上 総 利 益	28,149	19.3%	49,431	28.4%	175.6%	43,840	26.6%	5,591	12.8%
販 売 ・ 管 理 費	20,123	13.8%	22,420	12.9%	111.4%	22,541	13.7%	△121	△0.5%
人 件 費	11,284	7.8%	12,304	7.1%	109.0%	12,423	7.5%	△119	△1.0%
広 告 宣 伝 費	6,902	4.7%	7,682	4.4%	111.3%	8,021	4.9%	△339	△4.2%
保 険 料	217	0.1%	217	0.1%	100.0%	217	0.1%	0	0.0%
そ の 他 費 用	1,720	1.2%	2,217	1.3%	128.9%	1,880	1.1%	337	17.9%
営 業 利 益	8,026	5.5%	27,011	15.5%	336.5%	21,299	12.9%	5,712	26.8%
営 業 外 利 益	713	0.5%	1,097	0.6%	153.9%	1,748	1.1%	△651	△37.2%
営 業 外 費 用	1,986	1.4%	2,192	1.3%	110.4%	1,887	1.1%	305	16.2%
経 常 利 益	6,753	4.6%	25,916	14.9%	383.8%	21,160	12.8%	4,756	22.5%

※ 売上原価の労務費に高齢者事業団からの人員派遣委託費を含む。

練習場を含めた総売上高は 173,900 千円と予算比 28,350 千円、達成率 119.5%、前年度比 9,083 千円、5.5% 増加した。そのうち、練習場売上高は 15,690 千円と前年度比 663 千円、4.4% 増加した。

売上原価は 124,469 千円と、前年度比 3,492 千円、2.9% 増加した。売上高構成比は 71.6% と前年度比の 73.4% を 1.8% 下回り、売上総利益は 49,431 千円と前年度比 5,591 千円、12.8% 増加した。

販売・管理費は 22,420 千円と、前年度比 △121 千円、0.5% 減少した。営業利益は 27,011 千円と前年度比 5,712 千円、26.8% 増加した。

以上の結果、経常利益（税引前当期純利益）は 25,916 千円と前年度比 4,756 千円、22.5% 増加となった。

(3) 令和6年度末財務の状況について

①資産の部

(単位：千円)

科 目	年 度	令和6年度末		令和5年度末		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
流動資産	現 金 ・ 預 金	77,612	10.0%	60,770	8.0%	16,842	27.7%
	そ の 他	2,468	0.3%	2,003	0.3%	465	23.2%
	流動資産計	80,080	10.3%	62,773	8.3%	17,307	27.6%
固定資産	有 形 固 定 資 産	88,990	11.4%	87,968	11.6%	1,022	1.2%
	無 形 固 定 資 産	17,697	2.3%	17,697	2.3%	0	0.0%
	コ 一 ス 勘 定	574,110	73.9%	574,110	75.7%	0	0.0%
	投 資 そ の 他 資 産	16,410	2.1%	15,687	2.1%	723	4.6%
	固定資産計	697,207	89.7%	695,462	91.7%	1,745	0.3%
資産合計		777,287	100.0%	758,235	100.0%	19,052	2.5%

令和6年度末の財務規模は777,287千円と前年比19,052千円、2.5%増加した。

流動資産は現金・預金が16,842千円増加し、固定資産では有形固定資産が1,022千円増加、投資その他資産が723千円増加した。

②負債・純資産の部

(単位：千円)

科 目		令和6年度末		令和5年度末		増 減		
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
負 債 の 部	流動負債	法 人 税 等 充 当 金	4,047	0.5%	3,224	0.4%	823	25.5%
		未 払 消 費 税	3,331	0.4%	2,679	0.4%	652	24.3%
		そ の 他 流 動 負 債	5,055	0.7%	7,571	1.0%	△2,516	△33.2%
		流動負債計	12,433	1.6%	13,474	1.8%	△1,041	△7.7%
負 債 の 部	固定負債	長 期 借 入 金	110,160	14.2%	116,660	15.4%	△6,500	△5.6%
		長 期 未 払 金	9,521	1.2%	1,888	0.2%	7,633	404.3%
		そ の 他 固 定 負 債	16,283	2.1%	9,925	1.3%	6,358	64.1%
		固定負債計	135,964	17.5%	128,473	16.9%	7,491	5.8%
		負 債 合 計	148,397	19.1%	141,947	18.7%	6,450	4.5%
純 資 産 の 部	株主資本	資 本 金	97,100	12.5%	97,100	12.8%	0	0.0%
		利 益 準 備 金	24,275	3.1%	24,275	3.2%	0	0.0%
		別 途 積 立 金	348,000	44.8%	348,000	45.9%	0	0.0%
		繰 越 利 益 剰 余 金	159,515	20.5%	146,913	19.4%	12,602	8.6%
		小 計	531,790	68.4%	519,188	68.5%	12,602	2.4%
		純 資 産 合 計	628,890	80.9%	616,288	81.3%	12,602	2.0%
負債・純資産合計			777,287	100.0%	758,235	100.0%	19,052	2.5%

負債及び純資産は、流動負債で法人税等充当金が前年度比 823 千円増加し、未払消費税は 652 千円増加、その他流動負債は 2,516 千円減少した。

固定負債では、長期借入金 6,500 千円を償還し、また、固定資産の取得に伴う長期未払金は前年度比 7,633 千円増加した。

純資産では、税引後の当期純利益 12,602 千円が増加した。

(4) 令和7年9月末実績と経営概況について

【令和7年9月末コース売上高及び入場者数】

項目	単位	令和7年9月末			前年度 同期	前年度同期対比		
		計画	実績	達成率		増減	増減率	
西・南	売上高	千円	102,885	121,206	117.8%	116,361	4,845	4.2%
	入場者数	人	28,600	32,888	115.0%	31,334	1,554	5.0%
	客単価	円	3,597	3,685	102.4%	3,714	△29	△0.8%
北	売上高	千円	14,416	16,654	115.5%	16,940	△286	△1.7%
	入場者数	人	5,300	6,088	114.9%	6,117	△29	△0.5%
	客単価	円	2,720	2,736	100.6%	2,769	△33	△1.2%
合計	売上高	千円	117,301	137,860	117.5%	133,301	4,559	3.4%
	入場者数	人	33,900	38,976	115.0%	37,451	1,525	4.1%
	客単価	円	3,460	3,537	102.2%	3,559	△22	△0.6%

※ 売上高に消費税、ゴルフ場利用税は含まない。

※ 北コースの15歳未満の無料入場者を含む。（令和7年度：67名、令和6年度：71名）

令和7年9月末の営業実績は、練習場及び西南コースは4月5日、北コースは4月12日に営業を開始した。

入場者数や売上高は、5月から8月は前年度同期よりも増加、4月、9月は前年度同期よりも減少となっており、天候に左右されたことが大きな要因と考えられる。

9月末累計の入場者数では38,976人と当月末計画の33,900人に対して達成率115.0%、前年度同期比1,525人、4.1%の増加となっており、コース管理の状況やWeb予約が功を奏し好調を維持している。

入場者数に占めるWeb予約の割合が9月末現在で20,766人、53.3%と前年度同期比で0.7%下回っているものの、ゴルフ場ホームページからの予約が前年同期比で2,559人増え、合計手数料は前年度同期比で647千円減少した。

練習場の売上は、9月末現在で13,335千円と前年同期の13,186千円を上回った。

西・南コースの営業日数は、177日と前年176日に比べ1日多く、北コースは123日と前年度同期の121日に比べ2日多くなっている。

9月末のコース売上高は137,860千円と前年度同期の133,301千円を4,559千円、3.4%上回っている。入場者数も38,976人と前年度同期の37,451人を上回る結果となっている。

7 監査意見の総括

令和6年度の事業実績は、コースの売上額は計画上132,250千円に対し、実績は25,518千円増加し、157,768千円となった。練習場の売上額は計画上13,000千円に対し、実績は2,690千円増加し15,690千円となった。Web予約での入場者数は24,075人で全体入場者数44,013人の54.7%を占めており、ゴルフ場ホームページからの予約が11,407人とWeb予約全体の47.4%となっており、手数料が安価であるゴルフ場ホームページからのWeb予約が増えたことで、前年度よりも送客手数料の圧縮が図られている。

令和7年度のコース状況は、春先の融雪は順調に進み良好な状態で営業を開始することができたが、オープン後の4月は、前年に比べ低温が続き降雨日が多めに経過した。5月は適度に降雨があり芝生の生育も順調に進んだが、6月は降水量が少なく7月下旬のまとまった降雨日まで干ばつ状態が続き、フェアウェイの密度の低下による芝枯れが広がった。8月、9月は適度な降雨により、干ばつも解消され芝生の密度も回復した。

引き続き、Web予約等を活用した一層の集客方法の拡大を図ることで、効率化・経営健全化についての取組を進め、財政規律の強化や老朽化している施設・機械等の計画的な維持管理に努めることが重要である。

また、今後は従業員の人材確保がますます重要となってくることから、急速に変化する労働法制に対応した就業規則等の整備により人材確保に努められたい。